



発行所 鹿児島海難遺児育英会 東京都千代田区内神田 2丁目2番1号 鎌倉河岸ビル内 電話 03(254)7543 印刷 (株)連合印刷センター 電話 03(582)8541

父の死からの私

青森県八戸市敎中学 一年 上町 秀子

目がいやでいやでたまりませんでした。私には立派な父がいたんだと、言ってもやらない気持ちでした。

私の心に強く印象に残っている父は、冬の寒い日、長ぐつをはいて仕事に出ていく姿です。この私が四、五歳の時でも力づくで感じたのですから、今もし見れるのだったらどんなに嬉しいことでしょうか。力強いしる姿だった。このうしろ姿を私は心の中にいつまでも残しておくつもりです。この思いと反対に、父をうらんだこともあり、父がいけないということ、ばかにされたとき、父の死をうらみ、お父さんがいないからばかにされるんだと、言ってもやらない思いでした。そう思うと悲しくなり、どこにもやりようのない憎しみ、そして悲しみ、それを母にぶつけてしまおうのです。仕事でつかれた母に、心につきささるようなことも言ったことでしょうか、怒りたくなることも言ったでしょう、それでも母は、

父が死んだとき彼は、小学校三年生であった。彼が家へ帰ると祖母と、その当時まだ健在であった祖父が走り寄り寄ってきて「父ちゃんが死んだ」と言っていた。彼は「嘘だ」といつて信じようとはしなかった。葬式の当日、何故だか涙が出なかった。男子というものはそういうものなんだろうか。だが後になつての事、港に行きかう船を見て何故か涙が出てきた。

生前、父は彼に対して、とても優しく一度も殴ったことはなかったし、あまりしなかったこともなかった。彼が言うには「今にして思えば一度殴られてみたらよかった。俺は一生『親父の拳骨』をもらうことはない。酒もタバコもほとんどにやめた父が、一度だけ気持ちよく酔っぱらっていたのを見たことがある。今でもその姿が目につく」と、ま

ま彼は「小学校一、二年生の頃、体育がニガテな俺は、父に連れられて鉄棒の練習をしに行った。夜おそくまでつき合ってくれた」と。彼というのは私自身である。私の父のわづかな印象は、先にあげたように非の打ちどころのない思い出である。父の死は、後の私の進路に大きな影響を与えた。私は資格の取得を学業目標の一つとする職業系の高校に進学することにし、地元の水産高校の無線通信科を選んだ。現在自分の進路選択の正しかったことに満足している。

母は健在、「教育ママ」ではないにしろ、うるつさい。時には激しく対立する。母は「八戸市大字白銀町字砂森六四」に六、上町和子方



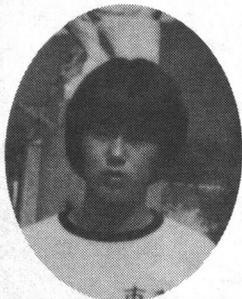
父を想う

鹿児島県立鹿児島水産高校 三年 立石 幹郎

私たちが育ててくれた。私が、社会人になつたら、今までの苦勞をいやしてあげる。兄妹三人で、母をいたわつて

その母が「離婚して父親と別れるよ...」と聞いたことがある。私もそうだなあと考えた。父が生前私たちのため頑張ってくれていたので、こうして今親子二人が暮らして行ける。今、私に出来ることは、母に孝行し、亡き父の期待にそうように、亡き父の名を恥ずかしめないようにすることだ。これはこの「だより」を読まれる同じ境遇の人々も同じ想いだと思う。残された私たちは、亡くなられた方々のために明日を力一杯生きていかなければならないのではないだろうか。この原稿を書きながら、考えてみると、私はこれまで自分の父親について書くことがなかった。それがこの縁だろうと思う。

一生懸命頑張っています



鹿児島県市来中学 二年 浜田 由美子

わたしの家族は、母と兄・妹と私の四人です。

父が船で遭難し、この世を去って九年過ぎました。当時、兄は小学校二年生、わたしは五歳、妹は八カ月でした。それからの母は、一人で幼なかつたわたしたち三人を今日まで、育ててくれました。きつたいへんな苦勞で育てて

くれたのだと思います。兄とわたしは、そのことがだんだんわかってきました。父は、一年に四回ぐらいしか帰ってこなかったのです。わたしははつきり覚えていません。でも、もつとかわいそくなのは妹。赤ちゃんだったから、顔などまったく覚えていない。父の写真のみながら大きくなってきてきたのです。母はいま仕事ももっているのです。わたしは三人は、母が家でする仕事を手伝ってあげます。家の中をきれいにそうじしておけば、母が疲れて帰ってきててもその疲れがどこかに飛んでいくような感じになってくれると思います。わたしは三人にとって、母は、父

親と母親の二役です。わたしははとつても幸せ者だと思います。初めて会う人には、わたしたち三人に父がいけないとは思えないでしょう。このようにわたしたちは、他の人に負けないように、毎日楽しく過しているのです。世間では、片親がいなくて子供はだらしがないと言われますが、決してそうではないと思います。わたしは、今を強く生きていきたいです。たぶん、兄や妹もそう考えていると思います。これまで、一生懸命頑張ってきたのだから、これから先も、今まで以上に頑張っていきたいと思つています。どこかで、父は、わたしたちが大きくなるのを見守っていてくれると思います。

昭和五十三年の八戸港は、水揚げ数量で日本一、金額で二位の記録を達成しました。この記録は、船主・乗組員の血と汗の結晶であるといふことは、うまでもありません。

輝くこの業績も、その蔭に海難(衝突沈没、海中転落)による死亡者三八名を数え、その遺族の悲しみは言葉ではいい現わしません。異常ともいえないこの事故発生は、誠に憂慮すべきものである。忘れられてはなりません。昨年十月、うち続く海難事故対策として「衝突・海中転落事故防止のため

!!漁船船員の手難事故防止のために!!



八戸漁連労務対策室長 野里 菊丸

「のステッカーを作成し、全船主に全漁船に配布し、目につく場所に貼りつけ、眼から海難防止を訴えることにしました。しかし卒直にいつて、その後もこの効果を確認し得る状況ではありませんでした。目に訴えることで効果がないのなら、耳からも訴えようと、その方法について、八戸漁業無線局の佐々木局長に御検討をお願いしたところ、次のような回答を受けることができました。それは電波法の定めによつて漁業無線局が実施する通信業務に、船主団体の行う

この海難防止の指導通信文は、八戸漁連会長が各船に呼びかける文体として、船員労働安全衛生規則第〇条の定めとか、船舶安全法、船員法などの固苦しい内容はさけ、海難の悲惨さ、残された家族の限らない悲しみ、生活の苦しみを訴え、家族と幸せに暮らすには海難から尊い生命を守る以外にないこと、乗組員一人一人の生命と健康は自分一人だけのものではない、最愛の妻子、父母・兄弟のものであると、訴え続けてまいりました。また、濃霧の中の航海は、必ず霧中航法を守ること、対向船がレーダーで確認されたら速度を落しその進路を確認すること、舷側外に身体をのり出す危険作業は、必ず二人以上で救命胴衣を着用するか、命綱を腰に結ぶこと等、具体的な防止のための守るべきことを指摘してきました。

この効果かどうかわかりませんが、本年の事故は昨年と比較して激減し、海中転落行方不明者二名だけであります。誠に有難いことです。私は、理くつ・理論はどうであれ海難をなくし、海難遺児を出さないために最善の努力を続け、この海難防止の指導通信をたゆみなく継続する決意であります。

本年度第3回願書受付け 10月末日まで

忘れないよう、おくれないう願います。

ニチモウ株式会社

『創立六十周年を記念して育英基金へ』



ニチモウ株式会社では、本年の会社創立六十周年にさいし、はなやかな記念行事を一切行なわれないこととされ、これにかえて「水産業界あつてのニチモウです。感謝の意をこめて、なんらかのお返しをしたい」と、育英基金として五〇〇万円御寄附いただきました。基金造成中の育英会としては、この上ない有難いことであり、理事長から感謝状を贈呈しました。

『募金・寄附金』お礼

昭和五十四年七月から九月までに御協力いただきました漁協系統募金及び一般寄附金は、次のとおりです。ここに御芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

○漁協系統募金
七、九月計

- 一、三七九、六〇一円
- 一般寄附金
- 七、九月計
- 六、〇三四、〇〇一円

○漁協系統募金・一般寄附金
四、九月合計

△漁協系統募金
五、七五〇、二八七円

△一般寄附金
一、一四九、六五八円

△総計 一七、八九九、九四五円

※御芳名(敬称略)

一、漁協系統募金(系統扱い寄附金を含む)

〔七月〕▽京都府地方協議会(以下地方協議会又は漁連名略)▽青森県(八戸漁連経由・全国海友婦人会八戸支所支部長佐々木ツヤ)▽石川県(小木漁協・豊田長作氏快気祝)

〔八月〕▽青森県(八戸漁連経由・報恩互助会代表八田宇一)▽京都府(浦原有美氏御尊父香典返し)

〔九月〕▽青森県▽三重県▽香川県(国際児童年記念募金)▽沖繩県

二、一般寄附
〔七月〕▽宮城伸三(全日海経由)

快気祝)▽大島みぎわ(東京都中野区)▽高山隆三(慶応義塾大)▽大津昭一郎(高崎経済大)▽浦城晋一(三重大)▽吉木武一(長崎大)

〔八月〕▽中居裕(政治経済研)▽原田英生(流通経済研)▽岡本次子(東京都)▽手島弘平・田口絹子(育英会)▽秋山博一(全漁連)▽ニチモウ株式会社(取締役社長松井薫・創立六〇周年記念)▽松尾早苗(全日海)▽山本正昭氏香典返し)▽西正美(西公認会計事務所)▽埼玉県仲卸人組合(魚河岸納涼の夕べ)▽漁船海難遺児育英募金(四回目)▽〔財〕海洋生物環境研究所

〔九月〕▽佐々間誉(全日海経由)▽全漁連創立二〇周年記念大会場募金▽全日海(匿名・塩釜市)▽株式会社中央漁業公社▽齊藤民夫(気仙沼市)

「悲しみの海」売上げの一部寄附予定額、九月末で三〇万円になりました。未購入の県連はよろしくお願ひします。

系統通信

◆本年度全国漁船海難遺児育英事業事務担当者打合せ
このことについては、前号でお知らせした議題を中心に、七月三〇日に開催しました。御出席御苦勞様でした。その議事内容については、すでに送付した議事録概要のとおりですが、「育英事業の改善方向について」、及び、「育英会設立十周年記念行事について」は、御協議いただいた方向で近く開催される理事会に諮ることとなります。

◆財団法人漁船海難遺児育英会設立一〇周年記念事業推進委員会発足
来年十月二十九日の育英会設立十周年を迎えるにあたり、意義ある記念事業を行うため、全国各ブロックから代表県に記念事業推進委員をお願いし、今後、具体的に事業内容、事業の推進等について御検討いただくことになりました。

◆全国配製
長い間の念願であった募金箱の一括製作が、予定していた育英会設立記念日を前に実現することとなりました。十月の末か、十一月の初めには、各県漁連に届く予定で製作が進められております。各漁協及び配置をお願いする各機関への配布には、一方ならぬお手数をおかけしますがよろしくお願ひします。

◆募金箱正面中央の部分には、ステッカーを毎年貼りかえる予定です。本年は、国際児童年ですから、その公式シンボルマークを貼るよう準備を進めております。

◆代表県は、次のとおりです。よろしくお願ひ申し上げます。
北海道漁業指導漁連・岩手県漁連・茨城県漁連・三重県漁連・京都府漁連・兵庫県漁連・山口県信漁連・長崎県漁連 以上八漁連

全国の仲間たち

昭和五十四年度第二回新規採用者は、上表右欄のとおり学資給与奨学生が小学生四七人、中学生一人及び奨学金貸与高校生五人、合計六三人でした。これで、八月末の総奨学生数は二、一九九人になります。

八月末三日間程、福島県小名浜の仲間達を六世帯訪問する事が出来ました。仲間達が、新学期を迎え毎日元気に勉強やお手伝いを一生懸命している。明るい良い子たちだと知り、とても嬉しかったのです。また、漁協担当者の遺族に対する親身な配慮の感じられる熱意に、お母さん共々私たちも大へん感謝して参りました。今後、機会を見つければ、一人でも多くの仲間達と会いたい気持ちです。(合沢)



育英会一年生からのメッセージ
田口絹子

みなさん、はじめまして、こんにちは。私は、今春、大学を卒業して育英会にやってきました。育英会一年生です。学生時代より海とそこで生活する人々が大好きな私ですが、この想いが縁になって、みなさんのお仕事をさせていた。だくことになりました。

さて、今日は、育英会事務局の心意気をみなさんにお伝えしようと思ひます。私達は、毎日、仕事で接するみなさんの書類を手にするごとに、「この子は、一体どんな子かしら?」とみなさんにいろいろと思ひが、はせます。たとえば、「〇〇さんの願書が届きました」と言えば、先輩が「この子はお姉さんが2人いるのよ」と教えてくれます。また、ある時は、「この家

では、子供も大きくなり、おかあさんも少しは楽になるわ」と教えてくれます。みなさんの便りに、一喜一憂する私達です。

こんな私たちの思いが、通じたのか八月の下旬に、小名浜に出かけることが、できました。はや、初秋を感じさせる青空のもと、私にとっては、はじめての出張ということで、大張切りだったのですが、学校が始まっていて、沢山のみなさんにあえなかつたのが、残念でした。でも、みんな、明るく元気一杯で、おかあさんを中心がなばってました。また、いつもお世話になつて漁協職員の方々の努力にも自然と頭が下がりました。

そして、みんなのこういう心が、限りない笑顔をもとめて、一つの大きな輪を作り、育英会を作ったんだと、私は、しみじみ思ひました。

事務局全員、みなさんのお役に立ちたい一心でがんばっています。どうぞ気軽な疑問・質問・近況をお知らせ下さい。私は、まだ、半人前ですが、一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひします。

◆代表県は、次のとおりです。よろしくお願ひ申し上げます。
北海道漁業指導漁連・岩手県漁連・茨城県漁連・三重県漁連・京都府漁連・兵庫県漁連・山口県信漁連・長崎県漁連 以上八漁連

◆全国配製
長い間の念願であった募金箱の一括製作が、予定していた育英会設立記念日を前に実現することとなりました。十月の末か、十一月の初めには、各県漁連に届く予定で製作が進められております。各漁協及び配置をお願いする各機関への配布には、一方ならぬお手数をおかけしますがよろしくお願ひします。

◆募金箱正面中央の部分には、ステッカーを毎年貼りかえる予定です。本年は、国際児童年ですから、その公式シンボルマークを貼るよう準備を進めております。

◆代表県は、次のとおりです。よろしくお願ひ申し上げます。
北海道漁業指導漁連・岩手県漁連・茨城県漁連・三重県漁連・京都府漁連・兵庫県漁連・山口県信漁連・長崎県漁連 以上八漁連

都道府県別奨学生数

(昭和54年9月末現在)

県名	学資給与奨学生			奨学金貸与奨学生	合計	54年度第2回新規採用者			
	小学生	中学生	小計			小学生	中学生	(貸与)高校生	計
北海道	143	(1)165	(1)308	46	(1)354	10	1	1	12
青森	74	(2)93	(2)167	32	(2)199	3	—	1	4
岩手	68	78	146	38	184	2	1	1	4
宮城	66	69	135	10	145	5	4	—	9
秋田	—	9	9	1	10	—	—	—	—
山形	17	(1)25	(1)42	8	(1)50	—	—	—	—
福島	30	31	61	17	78	—	—	—	—
茨城	10	9	19	6	25	—	—	—	—
千葉	34	20	54	1	55	—	—	—	—
東京	2	5	7	1	8	—	—	—	—
神奈川	6	4	10	5	15	—	—	—	—
新潟	13	32	45	6	51	—	—	—	—
富山	9	9	18	6	24	—	—	—	—
石川	20	21	41	12	53	—	—	—	—
福井	6	6	12	2	14	—	—	—	—
静岡	10	21	31	9	40	3	1	—	4
愛知	8	(2)11	(2)19	4	(2)23	1	2	—	3
三重	16	14	30	10	40	1	—	—	1
京都	1	1	2	2	4	—	—	—	—
大阪	4	4	8	—	8	—	—	—	—
兵庫	19	13	32	11	43	—	—	—	—
和歌山	15	16	31	4	35	—	—	—	—
鳥取	17	(1)17	(1)34	4	(1)38	—	—	—	—
島根	16	14	30	2	32	2	—	—	2
岡山	8	5	13	1	14	—	—	—	—
広島	3	3	6	5	11	—	—	—	—
山口	39	38	77	14	91	3	—	—	3
香川	12	11	23	10	33	—	—	—	—
徳島	4	13	17	7	24	—	—	—	—
愛媛	12	18	30	9	39	1	—	—	1
高知	24	25	49	6	55	—	—	1	1
福岡	9	19	28	2	30	—	—	—	—
佐賀	11	9	20	1	21	3	—	—	3
長崎	81	(3)97	(3)178	25	(3)203	11	2	1	14
大分	8	13	21	4	25	1	—	—	1
熊本	6	8	14	4	18	—	—	—	—
宮崎	13	12	25	13	38	—	—	—	—
鹿児島	18	(1)26	(1)44	12	(1)56	1	—	—	1
沖縄	1	1	2	—	2	—	—	—	—
合計	853	(11)985	(11)1,838	350	(11)2,188	47	11	5	63